

就職内定特集 3

生活未来科 生活福祉コース

いなば

稲葉 ちさとさん

奈良県立添上高等学校 卒業
社会福祉法人 奈良苑 内定

緊張や不安もありますが、ワクワクもしています。利用者さんとのかかわり、職員同士のかかわりを大切に、相手に寄り添えるような介護職員を目指します。

前号に続き、各コースの学生たちの就職活動の様子や春からの新生活に向けた意気込みをご紹介します。第3弾は、生活福祉コースの稲葉さんです。

Q：内定、おめでとうございます。長年の目標が達成されましたね。

「ありがとうございます。介護施設で働く母親の話を聞いて、『介護福祉の仕事ってやりがいがあるんだ』と興味を持ったのが中学生の頃でした。高校生の時には介護施設でアルバイトする機会を得て、介護職員が実際に働いている姿を目にして自分の決意も固まり、奈良佐保短期大学に進学しました。1回生の頃から、実習やボランティア活動で介護施設を訪問させていただく度に、そこで働く自分をイメージして学んできました。」

Q：就職活動にはどのように取り組まれたのですか？

「6月末に奈良で開催された福祉関連の就職フェアに参加して、それから気になった施設があったら連絡をさせていただき、見学にうかがう形で就職活動を進めてきました。できれば地元の施設で働きたいという希望を持っていたんですが、ある日、通学途中に通りかかった介護施設でスタッフ募集の張り紙を見つけたんです。小規模多機能型居宅介護の新しい施設です。実際に見学に行くと、施設が新しく素晴らしいのはもちろんなんですが、利用者さんと職員の方々の距離感が近く、温かさが感じられて、ぜひここで働かせていただきたいと思ったんです。」

Q：地元で働くという夢も叶ったわけですが、目標に向かって歩む稲葉さんの支えとなっていたのは？

「やっぱり、家族です。家族の支え。悩みごとを聞いてくれて、介護のことも教えてくれる母親の存在は大きくて、

心も体も支えられました。そして、クラスの仲間たちです。生活福祉コースは社会人学生も多くて、最初はびっくりしました。でも、すぐに打ち解けて、今ではもうみんな仲良しです。試験や課題も協力し合って乗り越えましたし、お互いに支え合って、切磋琢磨してきた2年間になりました。」

Q：最後に、春からの新生活に向けて期待と抱負をお願いします。

「緊張や不安もありますが、ワクワクもしています。利用者さんとのかかわりを大切に、その方にとって一番充実するのはどのような生活なのかを常に考え、相手の気持ちになりながら寄り添うような介護を目指していきたいです。あとは、いきなり話が飛びますけど、やっぱり結婚はしたいですね。それと、いただいたお給料で家族を食事に連れて行ってあげたり、お友だちと旅行にも行ってみたいです。」



高年齢施設の介護福祉士に！

就職内定特集 4

地域こども学科 こども保育コース

な かい さ な え
仲 井 佐名恵 さん

奈良県立御所実業高等学校 卒業
社会福祉法人 樹々福祉会 内定

大学では、友だちの輪の中で一緒に学びながら、自分が変わっていくのを感じました。春からは、子どもたちとともに歩み、一緒に成長していけるように頑張りたいです。

春からは保育園の保育士に！

最後のインタビューは、保育士として内定が決まったこども保育コースの仲井さんです。

Q：まずは内定、おめでとうございます。就職までの道のり、いかがでしたか？

「小さい頃から子どもにかかわる職業に就きたかったの、長い道のりだったかもしれませんが（笑）。高校時代も園芸について学びながら、それが保育にどんな風につながれそうかな、などと考えていました。高校卒業後の進路については、オープンキャンパスで受けた体験授業でのお話に心を打たれて『ここで学びたい！』と奈良佐保短期大学への進学を決めました。」

Q：進学後の大学生活はどうですか？

「実は、友だちをつくってうまくやっていたのか、最初はすごく不安でした。保育士を目指しながら恥ずかしい話なんです、私、人づきあいに苦手意識があったんです。でも、周りの友だちの方から声をかけてくれて、その輪の中に入って、一緒に勉強しながら自分の意識も変わっていったなあと感

じています。勉強面では、やっぱりそれぞれの先生の授業からも学ぶことがあって、発表する機会が多く用意されていたり、先生の熱意や優しさに触れたり、自分たちで考えを深められたり、どの授業も好きです。実習では記録簿の作成が大変なんです、そのおかげで何を大切に保育をしていくのかという自分の保育観が形になってきたように思います。」

Q：就職に向けた動きについてはどうでしたか？

「春からは京都にある保育園で保育士として働くんですが、具体的に就職活動を始めたのは幼稚園での教育実習が始まる直前、6月初めでした。大阪で開催された保育関係の就職フェアに参加して、そこで気になった園に教育実習が終わってから見学にうかがいました。それと並行して、大学の先生にも相談にのっていただいて、実際に子どもたちにかかわって働いている卒業後の自分のイメージを固めていきました。先生から紹介していただいた園にも見学にうかがいました。そうやって見学していく中で『ああ、この園の雰囲気、

あったかいな。遊びを大切に、子どもたちに寄り添える園なんだな』って心を動かされた園に出会ったんです。その後、ちょうどその園を運営している社会福祉法人で求人が出て、選考の結果、11月に内定をいただきました。自宅に通知が届いたのですが、何よりも安心したのを覚えています。でも次の瞬間、すぐに大学の先生やお世話になった方々に報告の電話をしました。嬉しかったです。」

Q：最後に、仲井さんの頑張りの支えとなったこと、そして春からの新生活への意気込みをお願いします。

「負けず嫌いな性格もあって頑張っていたら、やっぱり受け止めてくれる人が自分の周りにいっぱいいて、支えてくれました。失敗しそうで不安な時も励まして背中を押してくれたり、努力を認めてくれたりする家族、友人や彼氏、大学の先生方が私の支えです。春からは、子どもたちとともに悩み、楽しみ、一緒に成長していけるような保育士を目指して仕事をしていきたいです。」

LINE@ × narasaho スタート！
受験生向け注目情報をLINEで発信中！



本誌『プチアセビ』のバックナンバーもご覧いただけます。

